

遠軽町立白滝小学校

1 活動の概要

本校では、国内最大級の黒曜石原産地という地域資源を生かし、「石とふれあい、石に学び、石と生きる」ことを目標とする「石育教育」に取り組むとともに、児童が「白滝ジオパーク大使」の任命を受け、修学旅行等において白滝の黒曜石やジオパークの魅力を多くの人に発信しています。



ジオパーク大使任命式

2 活動の様子

(1) 修学旅行におけるPR活動

毎年修学旅行で訪れる札幌駅構内で、ジオパーク関連のパンフレットを配布するなど、ジオパーク啓発活動に取り組んでいます。児童からパンフレットを受け取った方が札幌から白滝を訪れるなど、白滝ジオパークのPRにつながっています。



【札幌駅でのPR活動】

暑か、夏も去り秋の空が広がっております。突然のお便りお許し下さい。夏の初めに札幌駅に於きまして白滝小学校の生徒さんから受け取った白滝ジオパークのパンフレットを見、先月とうとう行くことが出来ました。私にパンフレットを寄渡して頂いた買の生徒さんとお話をしてみたいです。行きますね、と約束をしたことが、今も残っており、ようやく約束を果たすことが出来ました。今日は白滝、遠軽、丸瀬布まで修学旅行に行きます。楽しみます。お楽しみに。

(2) 黒曜石のお土産作り

【白滝を訪れた方からのはがき】→

平成24年に行われた開校100周年記念式典・祝賀会では、参加者へのお土産として、全校児童が協力し、黒曜石のかけらに絵の具で着色した黒曜石ペンギンを作成し、渡しました。

材料となる黒曜石のかけらは、埋蔵文化財センターで行われている石器づくりの際に出たもので、黒曜石という貴重な地域資源の再利用・有効活用につながっています。



【黒曜石のペンギン】

(3) 石器を使ったシカ肉カレーライス作り

「石育」と「食育」をコラボレーションした活動として位置付け、地元の方から食材として分けていただいたシカ肉を、石器を使って調理する体験を行いました。

児童は、旧石器時代の人たちがこの石器を日々の生活に役立てていたこと、当時の生活には欠かせない道具だったことを改めて感じることができました。



石器を使ってシカ肉を切りました

3 Naviポイント

- 地域資源を活用するなどして、自然環境の素晴らしさに気付き、ふるさとを愛する心を育てることが大切です。
- 町外の人に向けたPR活動するなどして、自分の住んでいる町のよさについて改めて考えさせる活動に取り組むことが大切です。